

地元いわき市をはじめ、地域社会に貢献できる作業療法士

医療創生大学

健康医療科学部 作業療法学科

カリキュラム

ディプロマポリシー

DP1. 広い視野と豊かな教養に基づき、健康の維持・増進およびリハビリテーション専門職の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。

DP2. 地域に住む孤立しがちな人びとや、心身および生活上の障害を抱えた人びとの個別な健康・医療課題を的確に把握し、子どもから高齢者に至るまでその人らしく生活できるように、その生活支援や就労支援を行うことで、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。

DP3. 健康・医療に関わる課題を解決するために、作業療法の専門的な過程を用いて根拠に基づいた科学的思考が展開でき、優れた作業療法技術を駆使して生活能力の再獲得への支援ができる。

DP4. 健康・医療に関わる作業療法の専門家として科学と健康・医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的かつ能動的な学修ができる。

年次	学期	全学共通教育科目										専門基礎科目										専門教育科目																																																																																																																																										
4年	後期																					作業療法セミナーⅡ																																																																																																																																										
	前期											卒業研究Ⅱ										臨床教育と管理										作業療法セミナーⅠ										地域福祉マネジメントⅡ										臨床実習Ⅱ																																																																																																												
3年	後期											臨床心理学										リスク管理論										卒業研究Ⅰ										作業療法概論と生活学Ⅱ										高次脳機能作業療法学演習																				評価学実習										臨床実習Ⅰ										臨床能力演習																																																																				
	前期											チーム医療演習																														日常生活活動学演習										身体機能評価学Ⅲ										身体機能作業療法学演習										精神機能作業療法学演習										老年期作業療法学演習										発達と作業療法学演習										臨床推論演習										住環境整備、福祉用具学演習										就労支援と作業療法学演習																																						
2年	後期	○外国語 英語C2 韓国語2										薬理学 救急処置法 小児科学 内科学 公衆衛生学										作業療法学教育										精神機能評価学演習										発達機能評価学演習										日常生活活動学										身体機能評価学Ⅱ										精神機能作業療法学										老年期作業療法学										地域作業療法学演習										地域作業療法学										地域包括ケアシステム実習																																																
	前期	英語C1 韓国語1										○人文科学分野 ○社会科学分野 ○自然科学分野 人体の機能演習 運動学演習 病理学 神経内科学 整形外科 精神医学										科学的根拠に基づく臨床										精神機能評価学演習										検査測定法演習										身体機能評価学演習										身体機能評価学Ⅰ										義肢装具学演習										地域作業療法学																																																																														
1年	後期	英語A2 英語B2 健康・スポーツ2 倫理学の世界 文学の世界 暮らしのなかの憲法 政治学入門 生命の科学 食品の科学										人体の構造Ⅲ 人体の構造Ⅳ 人体の機能Ⅱ 人体の構造Ⅲ 運動学										作業療法基礎理論 基礎作業学演習										作業評価学演習																																																		見学実習																																																																														
	前期	フレッシュャーセミナー 日本語リテラシー コンピュータリテラシー 英語A1 英語B1 健康の科学 健康・スポーツ1 哲学の世界 ことばの科学 心理学概論 法学入門 社会学入門 災害からの復興 自然科学のあゆみ 健康と薬 統計のしくみ										人体の構造Ⅱ 人体の構造Ⅲ 人体の機能Ⅰ 社会福祉学概論 リハビリテーションの理念										生物統計学										作業療法学概論																																																																																																																																
		初年次教育科目		リテラシー教育科目		外国語教育科目		健康・スポーツ教育科目		一般教養科目		人体の構造と機能及び心身の発達		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進		保健医療福祉とリハビリテーションの理念		基礎作業療法学		作業療法管理学		作業療法評価学		作業療法治療学				地域作業療法学		臨床実習																																																																																																																																		
全学共通教育科目												専門基礎科目										専門教育科目																																																																																																																																										

カリキュラムポリシー

CP1. 1年次、2年次に、全学共通教育科目の初年次教育科目、リテラシー教育科目、一般教養科目、外国語教育科目、健康・スポーツ教育科目を配置し、作業療法士の担い手としてふさわしい幅広い人間的な視野と豊かな教養を身につける。(健康医療科学部作業療法学科ディプロマポリシー1に対応)

CP2. 専門基礎科目として、1年次、2年次を中心に『人体の構造と機能及び心身の発達』、『疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進』、『保健医療福祉とリハビリテーションの理念』を配置し、必要な基本的知識を修得する。(健康医療科学部作業療法学科ディプロマポリシー3に対応)

CP3. 専門科目は、基礎作業療法学、作業療法管理学、作業療法評価学、作業療法治療学、地域作業療法学、臨床実習の6つのカテゴリにおいて学修する。

- (a) 1年次から4年次に、『基礎作業療法学』を置く。基礎作業療法学では、作業療法の歴史的変遷や作業療法を支える理論および研究に関わる科目を配置し、科学的根拠に基づく実践の素地を修得する。(健康医療科学部作業療法学科ディプロマポリシー1、3、4に対応)
- (b) 1年次から4年次に、『作業療法管理学』を置く。作業療法管理学では、職場管理において求められる管理業務および臨床教育の基礎を学ぶとともに、職業倫理を高める態度を修得する。また、効果的に学修するために必要な知識や態度を身につけることで、生涯にわたり主体的に学修を継続するために必要な素地を修得する。(健康医療科学部作業療法学科ディプロマポリシー1、4に対応)
- (c) 1年次、2年次に、『作業療法評価学』を置く。作業療法評価学では、人間の身体機能、精神機能、発達機能を検査・測定する意義とその具体的方法について学修する。(健康医療科学部作業療法学科ディプロマポリシー2、3、4に対応)
- (d) 2年次から4年次に、『作業療法治療学』を置く。作業療法治療学では、作業療法士が用いるアプローチの理論と実際について学修する。また、4年次に作業療法セミナーⅠ、作業療法セミナーⅡを配置し、1年次から4年次までの学修を統合する。(健康医療科学部作業療法学科ディプロマポリシー1、2、3、4に対応)
- (e) 2年次から4年次に、『地域作業療法学』を置く。地域作業療法学では、障害のある幼児児童生徒の地域や学校における支援や高齢者等の活動と参加を促進するために求められる知識、生活環境の支援方法について修得する。3年次からは、より専門的な内容で障害者の就労支援と作業療法を学修し、地域・医療に関わる課題を把握し、地域貢献できる能力と態度を養う。(健康医療科学部作業療法学科ディプロマポリシー1、2、3、4に対応)
- (f) 1年次から4年次に、『臨床実習』を置く。臨床実習では、早期に、チーム医療の臨床現場を見学し、作業療法士としての基本的な態度に加え他職種と協働するために求められる倫理観やチーム医療の構成員としての態度を身につける。また、2年次の地域包括ケアシステム実習は、地域包括ケアシステムに携わる作業療法士の実際に触れながら、地域課題解決に向けた取り組みについて理解を深める。3年次、4年次では、実習指導者の指導のもとで一連の過程を学び、科学的根拠に基づく作業療法の素地を修得するとともに臨床実習の前後で客観的臨床能力試験(OSCE)を実施する。(健康医療科学部作業療法学科ディプロマポリシー1、2、3、4に対応)

アドミッションポリシー

AP1. 高等学校の教育課程を幅広く修得しており、心身ともに健全である人
AP2. 作業療法士の社会的使命や役割に興味関心があり、他の人たちへの思いやりと熟意をもって社会貢献しようとする意欲のある人
AP3. ものごとに対して主体性を持って、積極的かつ誠実に取り組む姿勢が身についている人
AP4. 社会の様々な問題に対して、知識や情報をもとにして、筋道を立てて考え、考えた結果を説明することができる人
AP5. 高等学校までの履修内容のうち、「国語」と「英語」を通して、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーション能力の基本的内容を身につけている人
AP6. 高等学校までの履修内容のうち、作業療法学の基礎として「数学」と「理科」の基本的内容を身につけている人
AP7. 学校や地域において、グループ学習、課外活動、ボランティア活動などの経験があり、他の人たちと協力して課題をやり遂げることができる人